

国語 第3学年 想どうしたことをつたえ合おう

検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：豆太の行動や気持ちを叙述から捉え、場面によって異なる姿を説明する。臆病か勇敢かという二択だけで決めず、何をきっかけにどんな行動をしたかを確かめる。C(1)イの学習として、豆太の人物メモ。場面、行動、そこから想像した気持ち、別の場面との共通点と違いを記す。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、豆太の行動や気持ちを叙述から捉え、いつもの様子と比べて考えを説明しているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。C(1)イの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：豆太の人物メモを残す。場面、行動、そこから想像した気持ち、別の場面との共通点と違いを記す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、C(1)イに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4：難しさのある児童にはどんな支援をするか。

返し：性格が全面的に変わったと単純化する。本文にない台詞や気持ちを書き足す。これについて、日常の行動と大きな出来事での行動を並べ、行動の理由になる叙述を探す。想像した気持ちは事実の行動と区別して書く。
〔知識及び技能〕(1)オとC(1)イを切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「豆太のどんなところが、この行動に表れていますか。いつもの様子と比べると、何が同じで何が違いますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、C(1)イに関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：豆太の人物メモは紙に記録できる。場面、行動、そこから想像した気持ち、別の場面との共通点と違いを記す。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をC(1)イの評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は東京書籍の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。C(1)イで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：光村版と同じ交流の評価にするのか。

返し：東京書籍の重点はC(1)イである。交流は根拠を確かめる活動として使い、主に記録する評価は叙述から行動や気持ちを捉えた姿に置く。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「豆太のどんなところが、この行動に表れていますか。いつもの様子と比べると、何が同じで何が違いますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。C(1)イに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

